

宮城県高齢者人口調査の結果について

1 調査の目的

この調査は、県が策定している「宮城県高齢者福祉計画」等、各種施策推進の基礎数値として活用するため、県における高齢者人口の動向等を把握するものである。

2 調査の主体 宮城県

3 調査の方法 各市町村の住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計。

4 調査時点 平成31年3月31日現在

5 調査結果の概要

(1) 高齢者人口（65歳以上）の状況……………表1

高齢者人口は629,559人となっており、総人口が0.4%減少したのに対し、高齢者人口は1.6%増加している。

(2) 高齢化率（総人口に対する65歳以上の割合）の状況……………表2-1

高齢化率は27.5%で前年と比較して0.6ポイント上昇している。

【参考】全国の高齢化率は28.1%（平成30年10月1日現在）

① 広域圏別高齢化率の状況……………表2-2

高齢化率が一番高いのは栗原圏域（38.7%）で、次いで気仙沼・本吉圏域（37.1%）、登米圏域（33.9%）、仙南圏域（32.9%）、石巻圏域（31.9%）、大崎圏域（31.3%）、仙台圏域（24.4%）となっている。

② 市町村別高齢化率の状況……………表2-3

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町（46.3%）、次いで丸森町（40.3%）、山元町（39.6%）、栗原市（38.7%）、女川町（38.7%）の順で、県内半数以上の22市町が30%を超えている。

一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷市（19.8%）で、次いで大和町（22.0%）、名取市（22.2%）、利府町（22.5%）、仙台市（23.7%）の順となっている。

(3) 在宅のひとり暮らし高齢者（65歳以上）の状況……………表3

在宅ひとり暮らし高齢者数は121,355人で、65歳以上の高齢者人口に占める割合は19.3%となっている。